

新生児黄疸の早期診断・治療促進のための普及・実証事業 株式会社アペレ(埼玉県)

ベトナム国の開発ニーズ

- 保健医療水準は急速に向上したが、母子保健、新生児医療分野、都市と地方の医療水準格差等に引き続き課題あり
- 新生児黄疸：正確な検査に必要な機器の未普及が一因で適時の診断・治療が困難

普及・実証事業の内容

- ホアビン省の公立病院を対象に、新生児黄疸に関する研修を実施し、検査機器と治療機器をセットで導入
- 公立病院を通じて母親、家族向け教育・啓発を行い、家庭での早期発見を促進
- 医療の専門知識については日本国内有力医療機関の助言を得る

提案企業の技術・製品



ビリルビンメーター



光線治療器
(アトムメディカル製)



遠心分離器

- ビリルビンメーター：途上国向けに開発された新生児黄疸検査専用機器
- 光線治療器：新生児黄疸の治療機器
- 遠心分離機：ビリルビンメーターでの検査用に血液を遠心分離する機器

事業概要

- 相手国実施機関：ホアビン省保健局
- 事業期間：2015年8月～2017年3月
- 事業サイト：ホアビン省

ベトナム国側に見込まれる成果

- 人材、機材の両面から地方の病院の新生児黄疸の診断・治療水準が向上
- 新生児黄疸に対する理解向上→新生児医療全般の水準向上、医療格差の是正にも寄与
- 上位医療機関の混雑緩和

日本企業側の成果

現状

- これまでベトナムではほとんど販売実績なし
- 販売は代理店経由であり、エンドユーザーと接する機会なし

今後

- ベトナム国内拡販(国内でメンテナンス対応が可能なメリットも活かす)
- ベトナムの医療機関のニーズに合致した製品開発
- ベトナム現法を近隣ASEAN諸国に向けた開発・製造拠点として位置付け